



わいわい
ガヤガヤ

元気
いっぱい♪



秋だよ！銀河公園まつり

くんねっぷ
議会
だより

No.219 9月定例会
2023年(令和5年)11月1日

発行：訓子府町議会

【特集】くんねっぷメロンの
現状と明日へのあゆみ

6P | 一般質問
町政を問う

16P | 議員研修報告
先進地に学ぶ

17P | 教えて！ギカイくん！
QRコードの使い方

議会ネット配信中
チャンネル登録
よろしくね！



明日への 状とあゆみ

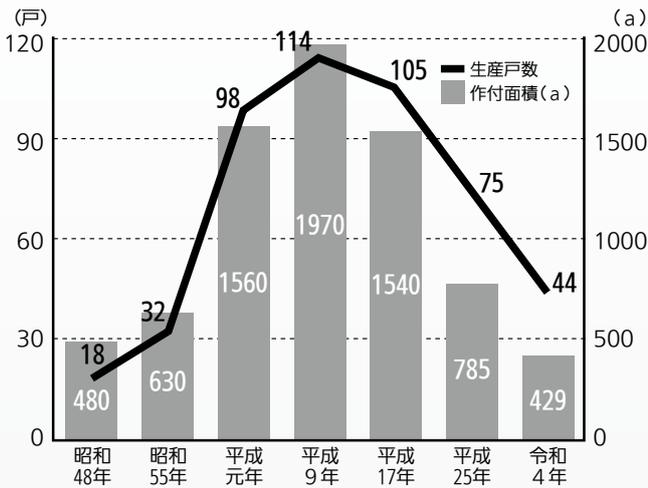


して甘いものではない～



きめ細かなチェックで高い品質が保たれている

くねっぶメロンの作付面積と生産戸数の推移



稲作転換促進政策のもと栽培が始まった「くねっぶメロン」は昭和48年に振興会が発足し、ピーク時には120名の会員により約2億円の売り上げを誇る特産品となりました。

しかし現在では、畑作の大規模化やメロン生産者の高齢化により生産高はピーク時の10分の1ほどにまで減少してしまっています。生産高は少なくなっていますが、品質には定評があります。

毎年講習会を実施し、技術向上・品質向上に取り組んでおり、数が少ない分、しっかりとしたチェック体制を構築し、確かなものだけを「くねっぶメロン」ブランドとして出荷されています。

おかげさまでクリームもなく、町内外の多くの人に愛されるメロンとなっています。

町民の声

買いたいけど最近買えないんだわ

毎年親戚に送るとすぐ喜ばれる！

青肉をもっと食べたいな



これからもなくさないで欲しい！

もう少し安いといいんだけどな

【特集】くねっぶメロンの現状と明日へのあゆみ

くねっぷ メロンの現

～甘いメロンを育むのは決

町の振興策

◇くねっぷメロン作付維持事業費補助金
.....91万円

(メロン振興会への補助)

町内PR用チラシの作成費用
メロンの種子代
花粉交配用蜜蜂確保費用に対する補助
当初予算で計上



◇メロン振興事業補助金
.....569万円

(町内農業者への補助)



メロン用新設ハウスの施設整備費（ハウス資材、設備費）の2分の1を補助
※1申請者当たり事業期間通算で面積438坪（長さ100m×幅7.2m×2棟分面積）569万4千円を限度とする
9月定例議会の補正予算で計上

これからのくねっぷメロン

「メロンはくねっぷメロンでなければ買わない」と言ってくれる消費者がいます。急に生産量を増やすことをできませんが、なくすことなく続けていければと思っています。機械化が難しく手間暇のかかるメロンづくりですが、これからも多くの方に愛され続ける「くねっぷメロン」を守り続けていきます。町からの補助事業はありがたく、町がメロンを守ろうとしてくれていると感じます。町の支援策をきっかけに、これまでメロンを作っていなかった若い方にも興味を持ってほしいです。町民の皆さんにも「くねっぷメロン」をたくさん食べてもらえるように、これからも作り続けたいと思っています。



林幸雄 訓子府町メロン振興会会長

補正予算 (主なもの)

◆新型コロナウイルスワクチン接種事業
……………760万4千円



「令和5年秋開始接種」に伴う費用。

◆メロン振興事業補助金
……………569万4千円



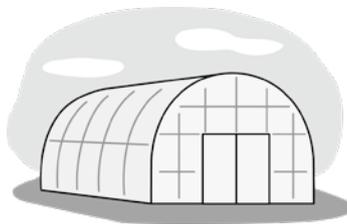
内容は
特集記事を
見てね



質疑から

【議員①】なぜハウスの費用を補助するのか。
またなぜ2分の1補助なのか。

【町長】ハウス資材が非常に高騰している。
ハウスの耐用年数は約10年。
全ては補助できないが減価償却を
考えると2分の1が妥当であると考えた。



【議員②】これまでにない高額な補助だが、なぜこのような補助に踏み切ったのか。

【町長】ハウスの建設費が非常に高騰しており、そこに支援しメロン振興につながればと考えた。

専決処分 (主なもの)

◆新型コロナウイルスワクチン接種予約受付業務
……………536万8千円



「令和5年秋開始接種」のコールセンターの設置などにかかる費用。

◆部活動等派遣費補助金 ……………195万5千円



9月2日に行われた訓子府中学校吹奏楽部の全道大会の出場にかかる費用への補助。



第68回北海道吹奏楽コンクールに出場し勇姿を見せた3年生と高橋先生

定例会 9月

9月12~14日

町から提案された議案は、各会計補正予算3件、規約の変更1件、財産の処分1件、人事案件1件、認定6件、報告1件ですべて原案どおり可決、承認しました。
その他議員提案の請願1件、意見書案6件、報告2件はすべて原案どおり可決、了承しました。



議案説明を視聴できます

わたしは こう判断



全員賛成により可決した議件名

令和5年度各会計補正予算

- 一般（第6号） ○介護保険（第2号）
- 国民健康保険（第1号）

規約の変更

- 北海道市町村職員退職手当組合理約の変更

令和4年度各会計歳入歳出決算の認定

- 一般 ○国民健康保険 ○後期高齢者医療
- 介護保険 ○下水道事業 ○水道事業

人事案件

- 教育委員会委員の任命

報告

- 令和4年度訓子府町財政健全化及び経営健全化の比率
- 財政的援助団体の監査結果報告
- 出納検査結果報告

その他

- 財産の処分
- 専決処分の承認

請願書

- 国の責任による少人数学級のさらなる前進を求める請願書

意見書

- 国の責任による少人数学級のさらなる前進を求める要望意見書
- 国の教育予算を増やして高校授業料無償化、給付奨学金制度の確立を求める要望意見書
- 特別支援学校の過大過密解消および特別支援学級の学級編制標準の改善を求める要望意見書
- 国の責任で教職員未配置・未補充問題の改善を求める要望意見書
- 肥料、燃油などの生産資材等高騰対策の強化を求める要望意見書
- 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書

※9月定例会では賛否が分かれた議件はありませんでした
 ※山田議長は採決に加わりません

町長からの 行政報告



◇教育費指定寄付について

訓子府町協成にお住いの菊池一春様・ヤエ子様から図書館建設に役立てていただきたいと300万円の寄付がありました。

寄付金につきましては、社会資本整備基金に積み立てし、今後活用させていただきます。

令和4年度各会計の決算認定は「決算審査特別委員会」に付託

○決算審査特別委員会の構成

- 委員長 西 森 信 夫
- 副委員長 谷 口 武 彦
- 委 員 余 湖 龍 三
- 委 員 北 川 克 良
- 議 長 山 田 日出夫（オブザーバー）

○決算審査特別委員会の審議日程 10月24日～30日（土日を除く）



やま ぎし いさむ
山 岸 勇さん
(旭町)

◇議会に望むことは？
 「まちづくり株式会社」に興味を持った。早く実現するのいいなと思います。

◇傍聴の感想は？
 議員の皆さんは勉強していて一生懸命やっていたと思います。

◇傍聴のきっかけは？
 北見市から引越して来て、訓子府町議会がどういふものか興味がありました。

インタビュー

※9月定例会は9人の傍聴がありました。



一般質問は議員が、町の行財政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質す^{ただ}ものです。

町政を問う



8人の議員が質問

- ◇谷口 武彦 議員…………… P 7
 - ・最近の気候変化の対応について
 - ・町民に寄り添った除雪事業について
 - ・防犯カメラの今後の考えについて
- ◇村口 鉄哉 議員…………… P 8
 - ・農業就労者に対する支援について
 - ・下水汚泥の堆肥化の考えについて
 - ・国、北海道が行っている給付金などの周知について
- ◇大野 良弘 議員…………… P 9
 - ・救急出動要請の対応について
 - ・自治会資料の重要性について
- ◇泉 愉美 議員…………… P10
 - ・小中学生の学力・体力向上のための取り組みについて
- ◇余湖 龍三 議員…………… P11
 - ・地域おこし協力隊の具体的な活用について
 - ・メロン振興策について
- ◇吉野 美香 議員…………… P12
 - ・高齢者ハイヤー利用サービスと地域交通について
 - ・スポーツ少年団と中学校部活動について
- ◇渡邊 智大 議員…………… P13
 - ・LGBTQ+（性的少数者）も住みやすいまちづくりについて
 - ・猛暑時の公共施設の避暑利用などについて
- ◇北川 克良 議員…………… P14
 - ・高齢者勤労センターについて



一般質問の記事は、各議員が音声データを基にして書き上げたものを掲載しています。

問 誰一人取り残さない暑さ対策は

町長 学校などの課題をクリアしたい

今年の猛暑対策

問 8月の猛暑対策として行った対応は。

町長 役場庁舎、公民館、図書館など冷房設備がある施設を開放した。

また、地域担当職員が高齢者住宅で声掛けを行った。

避難所の冷房対策

問 避難所になる公共施設で冷房がない施設は。

町長 全く冷房がない施設は、鉄北地域集会所、勤労者福祉会館、末広地域集会所である。

問 高齢者が避難できるよう町内の施設、各会館などに冷房設備を設置する考えは。

町長 避難施設というだけではなく、日常の利用実態も併せ検討していく。各自治会館については、意向を尊重し個別に対応していく。

公営住宅の冷房対策

問 公営住宅にエアコンを設置する考えは。

町長 現在設置はないが、現状復旧を条件に設置は認めている。

当初から設置するつもりにはなっていないため、電源設備などの自己負担は大きいと考えている。

問 今後公営住宅を新築や改築する場合には、電源や室外機を設置するための整備など、エアコンを設置しやすい環境整備の考えは。

町長 快適な住まいを提供する責任はあると思うので、検討していく。

問 高齢者のひとり暮らしの住宅も多く、暑さで一人倒れて命の危険もあると考える。

厳しいかとは思いますが、リフォーム補助金の活用やエアコン専門の補助金制度の考えは。

町長 可動式設備は、補助対象にしていないが、熱中症などの発生も考え気象状況も含めて、さまざまな角度から検討していきたい。

各学校に冷房設備

問 猛暑日が続く小中学校が2日間臨時休校になったが、各学校の冷房設備は。

教育長 こども園は全保育室や会議室などに地中熱を利用した床冷房設備などの空冷設備を設置しており、各小中学校にはパソコン室と保健室に冷房用エアコンを設置している。

問 休校明けに各学校などを回ると、さまざまな工夫がされていた。

先生と話をすると命に関わる暑さを回避するために、こども園や各小中学校の全教室に冷房設備を望んでいるが設置の考えは。

教育長 本町の小中学校は建設以来30年から50年がたっており、老朽化の問題があり大規模改修などの検討や学校における電気容量の問題、財源の問題などがあり、緊急避難的に回避できるよう特別教室への設置を今後検討していきたい。



教室ではさまざまな暑さ対策が

これからの暑さ対策

問 高齢者、子どもの安心安全な環境づくりを含め、暑さ・猛暑対策について、「誰一人取り残さない」考えは。

町長 学校、子ども、高齢者など全てを含めてさまざまな課題もあるが一つずつクリアしていきたい。



たにぐち たけひこ 議員 谷口 武彦

今年の夏は異常気象！
これからの町の取り組みに期待



暑い教室では、工夫しながら授業が

このほかに「町民に寄り添った除雪事業について」「防犯カメラの今後の考えについて」の質問をしました。





むらぐち 鉄哉 議員

やっと2回目の質問が終わりましたひと息

問 農業就労者への支援は

町長 来年度に向けて検討したい

農業就労者

住居支援策

問 民間賃貸住宅整備などへ支援の補助は。

町長 町内の雇用主および町内事業所から入居申込みがあった場合、職員住宅などに入居できるように管理規則を改正したい。

問 湧別町では、20平方メートル以上の賃貸住宅を建設する場合、1戸56万円の補助があり、町内業者が行った場合は、その2倍の補助制度があるが支援の考えは。

町長 来年度の予算に向けて検討したい。

農業就労者

雇用支援策

問 雇用契約しているきようだいや従業員の支援の考えは。

町長 後継者などの支援はあるが農業の雇用労働支援は考えていない。単に労働を支援するのではなく、定住や永住対策として質問しているが。

町長 定住対策として検討したい。

外国語表記の

ごみ収集カレンダー

問 ごみ収集日など外国人に理解される外国語表記の考えは。

町長 8月末現在、9カ国65人の外国籍の方が住人となっており、今後雇用主の意見を聞きながら、検討していきたい。



雇用主の設置した農業就労者住居

問

下水汚泥の堆肥化は

循環型社会を構築し
検討する

町長

町営牧場などで利用

問 下水汚泥の年間処理量と費用は。

町長 現在、置戸町堆肥供給センターで処理されており、令和4年度処理量約290トン、処理費用約470万円である。

問 令和5年度予算では処理費税込約660万円をかけて、さらに堆肥として町営牧場で購

入している。

すでに下水汚泥堆肥として農林水産大臣から認められている物から再度多額の負担をしない用するのではなく、直接町営牧場や町堆肥供給センターなどで利用する考えは。

町長 今後循環型社会の構築と下水道会計の負担も考慮しながら時間は要するが検討していきます。



下水汚泥脱水機

このほかに「国、北海道が行っている給付金などの周知について」の質問をしました。



村口議員の一般質問を視聴できます

問

救急出動要請の対応状況と課題は

町長

すべての救急事案に対応できる

救急が重なった時は

問 町民から同時刻に別々の現場への出動要請があった場合の対応と課題は。

町長 平成20年3月10日から北見消防署通信指令課に高機能消防指令装置を導入している。北見市・置戸町・訓子府町の119番を一括受理し、高速回線で各支署や出張所に出動

指令が出されている。

訓子府救急・置戸救

急が同時出動している場合でもこの高機能消防指令装置により、出動該当車両が自動的に選定され、北見救急または留辺蘂救急が訓子府町・置戸町へと出動する体制が構築されており、北見地区消防組合内のすべての救急事案に対応できる。

消防車の応援出動は

問 救急車が一時不在の場合、消防車で救急隊員が出動し、救急車が到着するまでの間に救命措置を行うことは想定されるか。

町長 6名以上の勤務体制の場合には、消防車と救急車の2台運用を行っている。そのような事案の時は、消防車で救急現場に出動し処置観察を行い、後着の救急隊に引き継いでいる。



おおの よしひろ 議員
大野 良弘

安心できる
救急体制の継続を

問

重要な自治会資料の収集は

教育長

地域資料など収集方針に基づく

重要文書の保存管理

問 訓子府町の歴史にとって必要と判断される自治会資料などを町の重要文書として保存管理するという考え方を検討してはどうか。

教育長 教育委員会の自治会資料の保存管理は、これまでも地域資料など収集方針に基づき、訓子府の歴史・文化・生活・自然などの重要かつ貴重と認められる写真・地図・文献などの資料を歴史館や図書館を拠点として収集・保存・活用を行っている。

今後町にとって重要かつ貴重と思われる地域資料は、町民共有の財産として位置づけられて収集・保存・活用を図っていく。

自治会史の必要性

問 自治会史の必要性や課題など、学習会やア

ドバイザー派遣などの方法により、自治会と行政が連携する中で取り組みを深めていくことが重要だと思うがどう対応すべきと考えるか。

教育長 本町の自治会史の発刊状況は、実践会がほとんど発刊済みで市街地の町内会では一部の町内会史が発刊されている状況である。

自治会史は、地域における歴史・生活・文化の記録を後世に伝える重要な役割を担っており、編集に必要な写真や地図、文献などを収集・提供などの支援や発刊の費用補助を行っている。

昭和49年度から23冊の発刊に関わっており今後も自治会との連携と支援に努める。



大野議員の一般質問を視聴できます



いづみ 泉 ゆみ 議員

漬物づくり
味噌づくりの季節
今年も頑張るぞ！

問

義務教育の目指すところは

教育長

二極化解消と地域・家庭との連携

学力テストの 分析と課題

問 全国学力・学習状況調査の結果分析と本町の子どものための課題は。
教育長 思考・判断・表現の学力の育成が十分とは言えない状況で、特に「書くこと」の領域に課題がある。

問 学力向上のために町独自で取り組んでいることはあるか。
教育長 小中学校学力向上連絡会議で家庭学習の質を高める方針を示し、児童生徒が自分の力で意欲的・主体的に学習を進めるために、各学校では丁寧なノ-

トづくりや授業と関連した家庭学習と一人一台端末による家庭学習の工夫・改善に取り組んでいる。

検定に補助金を

問 英語検定、漢字検定、数学検定の集団受検に町で補助をする考えは。
教育長 生徒たちのスキルアップのためには、検定を受けることも必要であり、実態やニーズを把握しながら調査研究したい。

問 町営塾の可能性は。
教育長 小中学生向けの公営塾は実態としてはあまりなく、大事なのは規則正しい生活習慣や規範意識を高めることだと考えており、現時点では学習に特化した町営の塾は考えていない。

町営塾の可能性は

問 町営塾のように町の学力のフォローに携わり、学びの場を用意する考えはないか。
教育長 小中学生向けの公営塾は実態としてはあまりなく、大事な

は規則正しい生活習慣や規範意識を高めることだと考えており、現時点では学習に特化した町営の塾は考えていない。

家庭との連携

問 体力向上の取り組みは。
教育長 各学校で体力向上プランを作成し、体育的行事や授業などで計画的に取り組んでいる。

問 学力・体力向上のため、家庭との連携を今後どのように推進していくか。
教育長 子どもたちの傾向や課題の理解促進を図るとともに、家庭学習の定着、学習習慣や運動習慣・生活習慣の改善・充実に向けて、学校・家庭・地域とより一層連携を図りながら取り組んでいく。

中学校の 通級指導教室

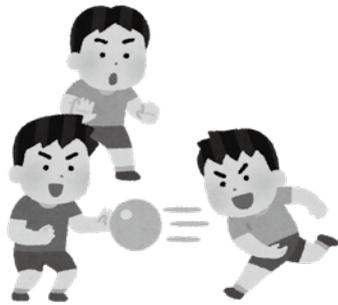
問 中学校の通級指導教室は珍しいが、設置のきっかけと経緯は。
教育長 保護者の強い希望があり、令和4年度

からオホーツク管内の中学校としては2校目の通級指導教室を開設し、現在14名が在籍している。

義務教育の今後

問 学習面・体力面の課題をふまえて、義務教育の目指すところと今後の取り組みについての考えは。
教育長 学力、体力ともに二極化しており、児童生徒をどう引き上げていくかが課題である。学校だけでなく、家庭や地域と連携しながら推進していく。

学校だけでなく、家庭や地域と連携しながら推進していく。



泉議員の一般質問を視聴できます

問

地域おこし協力隊早期募集の考えは

町長

組織的問題もあり少し時間が必要

問 地域おこし協力隊は3年間の期限はあるが国の地方特別交付税の対象で、その後の町内移住・定住の可能性のある施策である。

などの地域協力活動が全国では幅広く活用されている。

今後設立を予定している「まちづくり株式会社」については、その構想を検討しているところであり、具体的な活用方法や時期などは示すことはできないが構想や事業内容が固まり次第その活用策について幅広い視点から検討していく。

その活用は多種多様だが具体的な活用策は、**町長** 地域おこし協力隊は、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこしの支援や農林水産業への従事、住民生活支援

など

問 前回の一般質問の回答の中で「まちづくり株式会社」に地域おこし協力隊を活用する考えがあったが、来年度には事業を起すつもりなら早期の募集をする必要があると思うが

町長 「まちづくり株式会社」については具体的な部分をまだ示すことができないが、地域商社的な部分を入れられてきて、さまざま

町の農産品などのポテンシャルを上げることが選挙戦も含めて訴えてきた。

そのことに機構改革も含めて実施してまだ2か月なので内容を固め賄えるか、人間も含めてどのような方法があるのか、いろいろな組織的問題もあるかなど、もう少し時間をいただきたい。

町長

よこ 余湖 議員
りゅうぞう 龍三

今考えて
今やらなければ
来年度できません

問

来年度メロン振興の狙いと効果は

町長

自由度の高い制度効果が期待できる

問 今年度当初に出した振興策の種子への補助や広告伝費の助成では、生産者の生産意欲の向上にはつながらず今年の生産高は去年に比べて2割の減少であった。

今回の補正予算に出された振興策のねらいと効果は。

町長 「今回のメロン振興補助金は町内農業者を事業主体とし、今までメロンを作付けしていない方にもメロンの作付増加を強力に推進するねらいだ。

内容は新規でハウスを整備し現状の作付面積より増加させる場合に対して施設整備に係る経費の一部を助成する。

農業者にとって自由度の高い制度とすることで、より増反に取り組みやすく事業効果が発揮できるものと考えている。





吉野 美香 議員

2回目の一般質問
またまた緊張しました

問

高齢者ハイヤー事業と地域交通の課題は

町長

庁内協議を進めていきたい

利用者からは好評

問 高齢者ハイヤー利用サービスの利用者数、利用回数、および事業費の推移は。

町長 令和元年度から4年度まで、どの点においても増えている。

問 利用券一枚で同乗も可。対象年齢に満たない若い人を途中で降ろすことも可。うれしい設定ではあるが、このことにより事業費が多くなっているのでは。

町長 利用の目的からいうと、75歳以上の足の確保という事業なので、拡大解釈にならない範囲で利用していただき

たい。

問 対象年齢を引き下げ、利用させてほしいと多くの町民の声を耳にするが、どう考えるのか。また課題はあるのか。

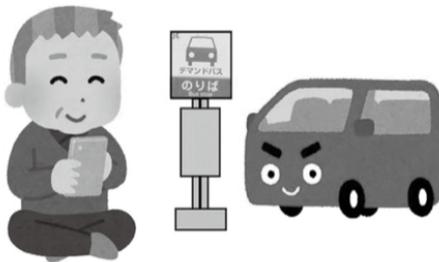
町長 利用者の年齢層は80歳から84歳が一番多く、運転免許自主返納を検討する平均年齢は道東圏で81・1歳となつているので、今のところ対象年齢引き下げの予定はない。

しかし、75歳未満でも、各種事業に該当せず、身体的な理由などで移動に関して日常生活に不便を感じている方の存在が想定される。どのような支援が必要であるのか、庁内協議を進めていきたい。

地域交通について

問 地域住民の生活維持に必要な足の確保としてデマンド交通があるが、訓子府町でも今後検討してはどうか。

町長 実は以前デマンド交通の実証実験を実施したが、非常に低調な結果に終わってしまった。無人のデマンドバスを巡行している地域などがあるので、それらの実証実験の情報も聞きながら研究していきたい。



問

スポーツ少年団と
中学校部活動の課題

教育長

指導者の担い手
確保に努めたい

問 スポーツ少年団の指導者確保と支援をどのように考えているのか。

教育長 平日の夕方に出役できる指導者数は足りない傾向にある。指導者資格取得に対して支援を行い、養成や資質向上を図っている。

これからも豊かなスポーツ環境づくりに努めたい。

問 「地域との連携による部活動運営」を進めることについて、どう考えているのか。

教育長 「部活動の地域移行」や「教職員の働き方改革」などにより部活動指導者の確保が大きな課題である。地域や関係機関、団体と連携を図りながら進め

ていきたい。

問 広報やホームページなどで指導者の募集や確保をしてはどうか。

教育長 連携をとりながら、少年団バンクのような形を検討していきたい。



吉野議員の一般質問を視聴できます

問

パートナーシップ制度導入の考えは

町長

近隣の動向を注視し検討進める

パートナーシップ制度 などの導入検討

問 昨年3月の定例議会での泉議員の一般質問で当時の町の認識としてパートナーシップ制度導入は国や他の自治体の動向を見極めて検討するという旨の答弁があった。

それから1年6か月が経過し、本町では「誰一人取り残さないまち

づくり」を掲げた伊田町政がスタートし、全国的にはパートナーシップ制度を導入する自治体が人口ベースで60%を超えるなど、多くの変化が起こった。

「パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度」導入の考えは。

町長 今年6月にいわゆる「LGBT理解増進法」が施行され、地方自治体においても理解

増進に関する施策の実施に努めるよう規定された。法律の基本的な考え方に私自身も共感するところがある。

本町としては、パートナーシップ制度などの導入について、道内全体や近隣自治体の動向を注視しながら、具体的な検討を進める。

教育現場の相談体制

問 LGBTQ+の58.2%が小中高生時代にいじめを受けたという調査結果や、LGBTQ+の不登校率が中学生で22.1%、高校生で14.9%という調査がある。

LGBTQ+の生徒が充実した学生生活を送りにくい現状があるが、セクシャリティに関して悩みを抱えたときの相談体制は。

教育長 教職員は研修などを通じてLGBTQ+の理解と支援のあり方や対処方法などの共通認識を図っている。

これまで、LGBTQ+に関する相談は寄せられていないが、一人一人が相談しやすく安心して過ごせる環境づくりが大切だと考えている。

問 LGBTQ+の学生の9割以上が保護者にも教職員にも相談できないという調査結果もある。教育専門員は意見を有し、定期的に学

校訪問しており、相談しやすいと考えるがセクシャリティの相談対応は。

教育長 教育相談の日を月に数日設けて教育専門員が各学校を訪問している。教育分野に限らず、教育分野に限らずどんな相談もして良いと周知している。セクシャリティについても相談体制の充実を図っていききたい。



わたなべともひろ 渡邊 智大 議員

質問内の調査データは私のSNSで公開しています



10メモ

パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度

同性カップルやその家族などが公正証書などの必要書類を揃え宣誓すれば、自治体が独自に家族に相当する関係であると証明する書類を発行する制度。

このほかに「猛暑時の公共施設の避暑利用などについて」の質問をしました。



渡邊議員の一般質問を視聴できます



きたがわ かつよし 議員
北川 克良

皆が健康で充実した生活を送ることを考えていきたい

問 高齢者勤労センターの存在意義は

町長 重要な役割を果たしている

高齢者勤労センター

問 町は高齢者勤労センターの存在意義をどう考えているか。

町長 高齢者勤労センターは現役を引退した後も、経験や技術能力を生かし、希望する高齢者に対して身近な働く場を提供している。住んでいる地域の役に立つことで、地域社会に貢献し活躍している。

高齢者勤労センターは身近な就業支援団体であると同時に、高齢者が健康で生きがいのある生活を送っていくうえで大変重要な役割を果たしていると認識

している。
問 町の委託業務を受けられなくなった場合の影響は。

町長 町が委託している業務は公園、パークゴルフ場、町営住宅などの町の管理している施設の清掃・草刈り業務・在宅福祉除雪業務など20種類を超える。

これらの業務委託ができなくなった場合、地元企業や地域に協力を求めるなど新たな対策の検討が必要となる。高齢者や障がい者宅の除雪業務は差し迫った

課題であり、福祉サービスの低下が危惧されている。

問 会員確保への助言は。
町長 会員数の減少は、就業環境の変化によるところが大きく、就業以外にも生きがいを見出される方も増えている。また、高齢者勤労センターは、短期的または軽易な業務を行う団体であることから働く意欲のある高齢者のニーズを満たしていないと感じている。さらに、老後の暮らし方も多様化し、今後は時代

に合わせ改善していくことが必要である。高齢者の中には働く意欲の高い方や何をすべきか悩んでいる方がいる。

高齢者や退職予定者に対して、高齢者勤労センターを積極的に周知広報するなどの取り組みが必要である。

人手不足にある現役世代を支える担い手として、介護や子育ての分野へ高齢者の就業推進を高齢者勤労センターと共に検討をしていきたい。

問 今後の助成の考えは。

町長 高齢者勤労センターは平成7年10月に設立され、平成29年度から収支が赤字になり、積立金の取り崩しが続いていると伺っている。10月からインボイス制度の導入もあり今後の財政状況を見守っていききたい。



問 将来を見据えて剪定技術など、特技を磨く講座を開いていく考えはあるか。

町長 講習を受けられる制度自体はできているので周知を図りながら、対応したい。

10メモ

インボイス制度

企業間取引での消費税計算を明確化するための請求書交付制度。税逃れ防止と適切な税納付を目指している。



北川議員の一般質問を視聴できます

新町長、新議員での活動が始まりましたね。大変な時代ですが、よろしくお願いします。

去年は豪雨など続き、大変な被害となってしまいました。復旧工事も大変な中進めていただいて、大変ありがたいです。しかし、車で走っていても危ないなと感じる所があるので、できるだけ早い時期に直していただくと助かります。

図書館の整備について、目新しい複合施設化は期待しますが、やはり図書と触れ合う空間が主役であること、公共施設の目印であることが失われないことを望んでいます。(学校の図書室と、図書館どっちが好き?なんで?などのアンケートをとってみると現図書館の良さを残しつつ、新設計画により良い案が出せるのではないのでしょうか。)

生成AIの活用については現時点では、町政の方針に賛同します。文章などの制作についても少し味があるほうがいいのではないですか。

議長コラムについて、「議会は…気兼ねなく意思疎通ができています」ようですが、すばらしいことですね。最低4年続けていただけると一町民として大変うれしく思います。

「ふるさとまつり」が復活して嬉しいです。夏はやっぱり「まつり・花火」がなくてはいけません。嬉しいです!

新議員の皆さまには、これまでの議員さんと違った目線や切り口で、提案や町議会での質問を期待しております。

議会モニターひろば

議会モニターからの意見をご紹介します。(要旨)

- ◇議会だより(8月1日発行218号)
- ◇議会ホームページ
- ◇議会インターネット配信について



かしわぎ くにひろ
柏木 邦宏 さん
(栄町)

おくむら しょういち
奥村 昇一 さん
(穂波)

しまぬき まさよ
島貫 昌代 さん
(日出)



うえはら ひろたか
上原 寛隆 さん
(駒里)

かわと ようこ
川戸 洋子 さん
(清住)

町内にはない種類のお店があれば便利ですね。いち民間企業が来るとなると、当然、費用対効果ありきだと思います。土地の提供や補助金があったとしても「企業誘致」にはいろいろな障害がありそうですね。

18ページ「定例会レビュー」6月定例会を振り返る Plan(計画)、Do(実行)、Check(測定・評価)、Action(対策・改善)のプロセスは大切ですね。

一般質問のページで新人議員さんの質問を見て、町民に大切なことだなと改めて思いました。

議会傍聴した人の声をこれからもたくさん載せて色々な人に興味を持ってもらいたいですね。

町のホームページから入るのが簡単ではない気がします。

ネット配信は見やすくなっていて、すぐ実際の議会の様子も見れてそれぞれの時間が示されているので、自分の都合のいい時間を選ぶことができ興味を持ってました。

やはり新しい議員さんが加わり、期待しながらページをめぐりました。それぞれ個性や視点が違うことで多岐に渡る議題が検討され、今後も楽しみとなります。

ネット配信で議会だよりだけでは表現しきれない部分を全て見られて良いと思います。

先進地に学ぶ

議会基本条例に基づき議員研修を行いましたのでご報告します。

7月19日・25日
5名参加
【札幌市・釧路市】

北海道町村議会議長会新任議員研修会

渡邊 智大



鵜沼信二 氏

「地方議会（議員）の制度と運営に関する基礎的事項について」という題で元全国都道府県議会議長会事務局次長の鵜沼信二氏による講演が行われました。議会および議員の役割や権限の地方自治法などの法律による裏付けや実態として担っている役割や機能などについて、議会の運営などについて説明がありました。

議員としての役割や権限についての理解が深まりました。

8月17日
1名参加
【札幌市】

北海道町村議会議長会議会広報研修会

吉野 美香



「伝わる議会報の編集ポイント」というテーマで有意義な3時間にわたる講習会でした。読者にどうすれば関心を持ってもらえて理解してもらえるのか、わかりやすい流れや順序だての構造などを教えていただきました。

後半は議会報クリニックでした。4町の実際の議会報をもとに、手直しのポイントや良い点、改善点などのレクチャーで興味をひく内容でした。普段あまり目に見えない議会報を見ることができ、勉強になりました。

9月28日
10名参加
【美幌町】

タブレット導入検討研修会

谷口 武彦



昨年度までの議会改革としての取り組みの中でやり残しているひとつに「タブレット導入」があります。半分のメンバーが入れ替わった今期の議員全員で、先進地である美幌町議会へ視察に行ってきました。

機種やソフトウェアの選出方法、導入のメリット、デメリット、導入経費など多くの質問に答えていただき、我々も今後のタブレットについての考えをまとめ、行政に理解を求めていき、導入の有無を検討していきます。

教えて!ギカイくん!



読み取り方 の講座



最近、目にすることの多いQRコード
その読み取り方について解説していくよ!
QRコードを活用して議会のHPを見たり
YouTubeの議会中継を確認したり
町の公式LINEに登録してみよう!

QRコードの読み取り方

①



スマートフォンの
カメラアプリを開きます

※QRコード読み取りアプリが
入ってる場合はそちらを開きます

②



QRコード全体が映るように
カメラを近づけます

※うまくピントが合わない場合は
スマホを近づけたり遠ざけたり
してみましょう

③



画面上部に表示が出たら
成功! タップして開こう!

やってみよう!

訓子府町議会HP



訓子府町議会
YouTubeチャンネル



訓子府町
公式LINE



定例会レビュー

9月定例会を振り返る

議会運営委員会では、定例会終了後にその運営を振り返り、よりよい議会運営をめざしています。一部をご紹介します。

反省点

- ・質問の最後が持論や演説で終わってしまっていた。
- ・「町長、最後に一言お願いします」と漠然と発言を求めていた。



改善点

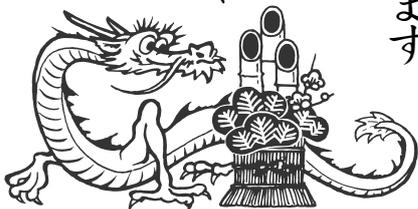
最後は質問で終わるべきであり、質疑のルール、進行パターンに関して再確認する。

前号の3ページの記事中に誤りがありましたので訂正いたします

- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業
誤: 3893万円 正: 3060万円
- ・店舗改修事業補助金
誤: 600万円 正: 250万円
- ・店舗出店等支援事業補助金
誤: 250万円 正: 600万円

訓子府町議会 議員一同

公職選挙法により、町議会議員の公職にある者は、当該選挙区内の方に対して答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等のあいさつ状は禁止されていますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

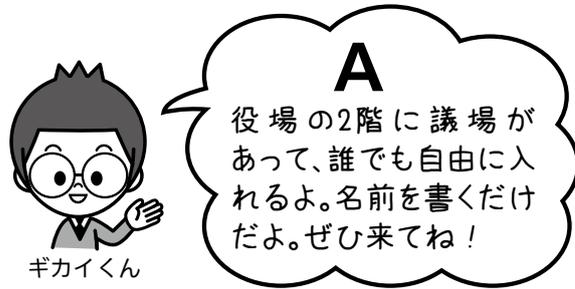


年賀のあいさつ状を失礼します

質問も募集しています



議会のことをもっと知りたい



主なうごき

8月

1日～3日	令和5年度オホーツク圏活性化期成会中央要望(夏季)(議長)
9日	第45回高齢者スポーツ大会(議長)
15日	豊年盆踊り大会(議長)
29日	網走地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会定期総会、研修会及び役員会(議長)
31日	町史編さん委員会(正副議長)

9月

8日	第72回敬老祭(正副議長、総文委員長)
12日	訓子府町顕彰審議会(正副議長、総文・産建委員長)
18日	敬老の日記念ゲートボール大会(正副議長)
21日	「秋の交通安全運動」街頭啓発(全議員)

10月

1日	自民党第12選挙区支部政経セミナー(議長)
16日	町有林野経営審議会現地視察(正副議長、産建委員長)
20日	北網ブロック市・町議会正副議長会議(正副議長)
21日	訓子府中学校学校祭(正副議長、総文委員長)
28日	訓子府小学校学芸会(正副議長、総文委員長)
29日	居武士小学校学芸会(正副議長、総文委員長)

議員の公務の出欠状況

議会基本条例に基づき公表します。

令和5年8月1日～令和5年10月31日

月 日	会 議 名	山田	渡邊	西森	吉野	村口	谷口	余湖	大野	泉	北川
8月 7日	議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会活性化特別委員会（タブレット部会）	○	○	△	△	○	○	△	△	○	△
8日	総務文教常任委員会（所管事務調査）	○	○	○	○	△	△	△	△	△	○
9日	産業建設常任委員会（所管事務調査）	○	△	△	△	○	○	○	○	○	△
17日	広報研修会（札幌市）	△	私	△	○	△	△	△	△	△	△
30日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会	○	○	△	△	△	○	△	△	○	○
31日	産業建設常任委員会	○	△	△	△	○	○	○	○	○	△
9月 1日	総務文教常任委員会	○	○	○	○	△	△	△	△	△	○
4日	議会広報特別委員会（サポート部会）	○	○	△	○	△	○	△	△	○	△
6日	議会活性化特別委員会	○	○	○	私	○	○	○	○	○	○
12日	第3回定例会（～14日）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○
	総務文教常任委員会（所管事務調査）	○	○	○	○	△	△	△	△	△	○
	産業建設常任委員会（所管事務調査）	○	△	△	△	○	病	○	○	○	△
	議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	病	○	○	○	○
	議会運営委員会（総括）	○	○	△	△	△	病	△	△	○	○
21日	議会広報特別委員会（サポート部会）	○	○	△	○	△	○	△	△	○	△
	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28日	議会活性化特別委員会（視察研修）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月 5日	議会広報特別委員会	○	○	○	私	○	○	○	忌	○	○
	議会活性化特別委員会	○	○	○	私	○	○	○	忌	○	○
13日	議会広報特別委員会（サポート部会）	○	○	△	○	△	○	△	△	病	△
17日	産業建設常任委員会（所管事務調査）	○	△	△	△	○	○	○	○	○	△
19日	議会広報特別委員会（サポート部会）	○	○	△	私	△	会	△	△	○	△
24日	決算審査特別委員会（～30日）	○	△	○	△	△	○	○	△	△	○

○：出席、欠席理由（私：私用、病：病欠、忌：忌引、会：他機関会議等）

なお、出席を求められないものは斜線表示としています。

議長コラム

②

「一言一行」

訓子府町議会議長 山田日出夫

議員のなり手不足

近年、この課題の深刻さが叫ばれ、新聞などでも取り上げられています。本町でも今春の議員選挙が無投票でした。

隣町では議員報酬を引き上げ、定数を上回る立候補があったという論調もありますが、本当でしょうか。

負託意識の定着、女性・青年の立候補意欲、議員の本業論、人口と議員定数など原因と課題はさまざまであり、報酬だけが原因とは、私には思えないのです。

まずは課題と原因を整理し議員間討議と町民意見をお聞きすることから始める必要があると考えます。

町民の代表が議員であるという使命を忘れず一致協力して真摯に取り組みます。



一言一行 普通でささやかな言葉と行いです

きかせて!

メロンを生産するご夫婦に聞きました



きたの 北野 ゆうさく 祐作さん (西富)

- ①自然豊かで、のびのび生活できるところ。
- ②とにかく大変な作業ですが、「美味しかった」と言われたときにやりがいを感じます。
- ③特産物を生かした、活気あるまちになればと思います。



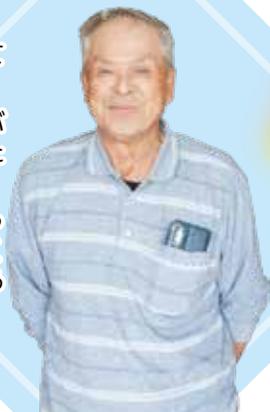
きたの 北野 ゆき 由季さん (西富)

- ①優しくて親切な人が多い。
- ②暑さや体勢など作業が過酷ですが、育っていくメロンを見ると幸せな気持ちになります。
- ③訓子府と言えばメロンだね!と言われるようなまち。

みんなの



- ①ゆったりのんびりしているところ。
- ②孫たちから「ジジババうまいわ」と言われた時。
- ③町内外の人が「ちょっといいね」と言ってくれる安心して暮らせるまち。



たかぎ 高城 しげる 茂さん (柏丘)

- ①訓子府の好きなところは?
- ②メロンづくりのやりがいは?
- ③どんなまちにしたい?



たかぎ 高城 みえ 美恵さん (柏丘)

- ①四季折々の景色が綺麗なところ。
- ②買って下さったお客様に「今年も美味しかったよ」と言ってもらえた時。
- ③若い世代の元気があるまち。

新しい議員構成となり、議会も徐々に通常活動ができてきた。AI、ITなど何かにつけ横文字が多くなりました。時代の変化を感じます。変わりつつある社会の流れを注視

あ と が き



し、町民の声を大切に受け止め行政に届けるべく役割を全議員で担っていきたく思います。
西森 信夫

初めて行われた 訓子府元気チーム vs 町長・議長チーム



第1回敬老の日ゲートボール大会に先立ち行われた親善試合

